


平成19年9月中間期 会社説明資料

平成19年12月
 **株式会社 星製作所**
(ジャスダック・8191)

会社のプロフィール

 株式会社 光製作所

平成19年9月現在

商号 株式会社光製作所

本社 東京都荒川区東尾久4丁目7番1号

代表者 代表取締役社長 安岡 光雄

設立 昭和34年4月

資本金 3,887百万円

売上高 12,107百万円(平成19年3月期実績)

従業員 72人

会社の沿革



- 昭和30年8月 荒川区尾久町2丁目434番地において代表取締役社長安岡光雄が有限会社安岡製作所を設立創業。
- 昭和34年4月 資本金1百万円の株式会社に改組、商号を株式会社光製作所に変更。
- 昭和38年3月 大阪市生野区に大阪支店を新設。
- 昭和45年10月 足立区に小台配送センターを新設。
- 昭和47年6月 大阪支店を大阪支社に改称、併せて現在地に支社ビルを新築移転。
- 昭和52年1月 業務拡張に伴い現在地に光流通倉庫を新築、同時に小台配送センターを廃止。
- 昭和56年9月 東京店頭登録銘柄として店頭市場へ株式を公開。
- 昭和59年3月 資本金を3,887百万円に増資。
- 平成16年12月 株式会社ジャスダック証券取引所に株式を上場。

事業内容

当社の企業集団は、当社、親会社、関連会社15社で構成され、業務用家具、リビング用家具、インテリア商品、育児・学童家具及びオフィス家具の販売並びに不動産の賃貸を主な業務内容として、事業活動を展開しております。



平成19年9月中間期

決算概要

 **株式会社 光製作所**

(ジャスダック・8191)

当中間期におけるわが国経済は、好調な企業業績や設備投資の増加等や雇用環境の改善傾向から緩やかに個人消費も回復しつつあり、景気は総じて回復基調にありました。

当家具・インテリア業界は全般に回復が本格化しておらず、耐久消費財である家具の購買意欲は低調な状態にあり、消費者の低価格志向や企業間競争の激化から厳しい状況のままにあります。

このような経済環境下におきまして、当社は市場競争力のある商品開発と営業活動を推進してまいりました。その結果、売上高は4,987百万円(前年同期比△1.5%)となりました。

利益面では、原材料の高騰等の影響もあり営業利益は、834百万円(前年同期比△5.9%)となりました。経常利益は、為替相場の変動の影響を受けオプション評価損520百万円及び為替差損78百万円を計上したことにより、396百万円(前年同期比△50.7%)と大幅な減益となりました。中間純利益もこの影響を受け、311百万円(前年同期比△51.3%)と同様に減益となりました。

中間損益計算書(非連結)

光 株式会社 光製作所

(単位:百万円)

	19年9月中間期	18年9月中間期	増減額	備考
売上高	4,987	5,061	△ 73	
売上原価	3,710	3,610	100	
販売・管理費	441	564	△ 122	
営業利益	834	886	△ 52	
営業外収益	187	706	△ 519	
営業外費用	625	788	△ 162	
経常利益	396	804	△ 408	
特別利益	186	821	△ 634	
特別損失	57	549	△ 491	
中間純利益	311	638	△ 327	

中間貸借対照表(非連結)



(単位:百万円)

	19年9月中間期	18年9月中間期	増減額	備考
流動資産	6,831	10,381	△ 3,550	
固定資産	34,836	29,602	5,234	
資産合計	41,667	39,984	1,683	

流動負債	3,160	2,437	722	
固定負債	2,516	2,081	434	
負債合計	5,677	4,519	1,157	

資本金	3,887	3,887	—	
資本剰余金	4,947	4,947	—	
利益剰余金	26,797	26,080	716	
純資産合計	35,990	35,464	526	

中間キャッシュ・フロー計算書(非連結)



(単位:百万円)

	19年9月中間期	18年9月中間期	増減額	備考
営業活動による キャッシュ・フロー	1,039	1,463	△ 423	貸倒引当金が減少に転じたこと及び仕入 債務の支払の増加によるもの
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 3,229	2,648	△ 5,877	有形固定資産の取得の増加の一方で、 有形固定資産の売却収入が減少したこと
財務活動による キャッシュ・フロー	859	△ 640	1,499	短期借入が発生したため
現金及び現金同等物の 増加額	△ 1,333	3,497	△ 4,830	
現金及び現金同等物の 期首残高	2,884	386	2,497	
現金及び現金同等物の 中間期末残高	1,551	3,884	△ 2,332	

セグメント別売上高

(単位:百万円)

セグメント	19年9月中間期		18年9月中間期		比較増減	
	売上高	構成比	売上高	構成比	金額	増減率
家具商品事業	3,563	71.4%	3,734	73.8%	△ 171	△ 4.6 %
不動産賃貸事業	1,424	28.6%	1,326	26.2%	97	7.4 %
合計	4,987	100.0%	5,061	100.0%	△ 73	△ 1.5 %

家具商品事業

家具商品事業は業務用家具が微増となりましたが、リビング用家具以下ホームユース向け部門が引続き厳しい状況にあります。

不動産賃貸事業

新規稼動物件が寄与し堅調な伸びを示しました。

平成20年3月期

業績予想

 株式会社 光製作所

(ジャスダック・8191)

平成19年3月期 業績予想(非連結)



(単位:百万円)

	20年3月期	19年3月期	増減額	備考
売上高	11,500	12,107	△ 607	
経常利益	1,599	2,101	△ 502	
当期純利益	970	1,930	△ 960	
EPS (円)	51.94	63.39	—	
ROE	2.7%	3.3%	—	

EPS = 1株当たり当期純利益

ROE = 株主資本利益率

※ 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は様々な要因の変化により、記載の業績予想と異なる結果になる場合があります。

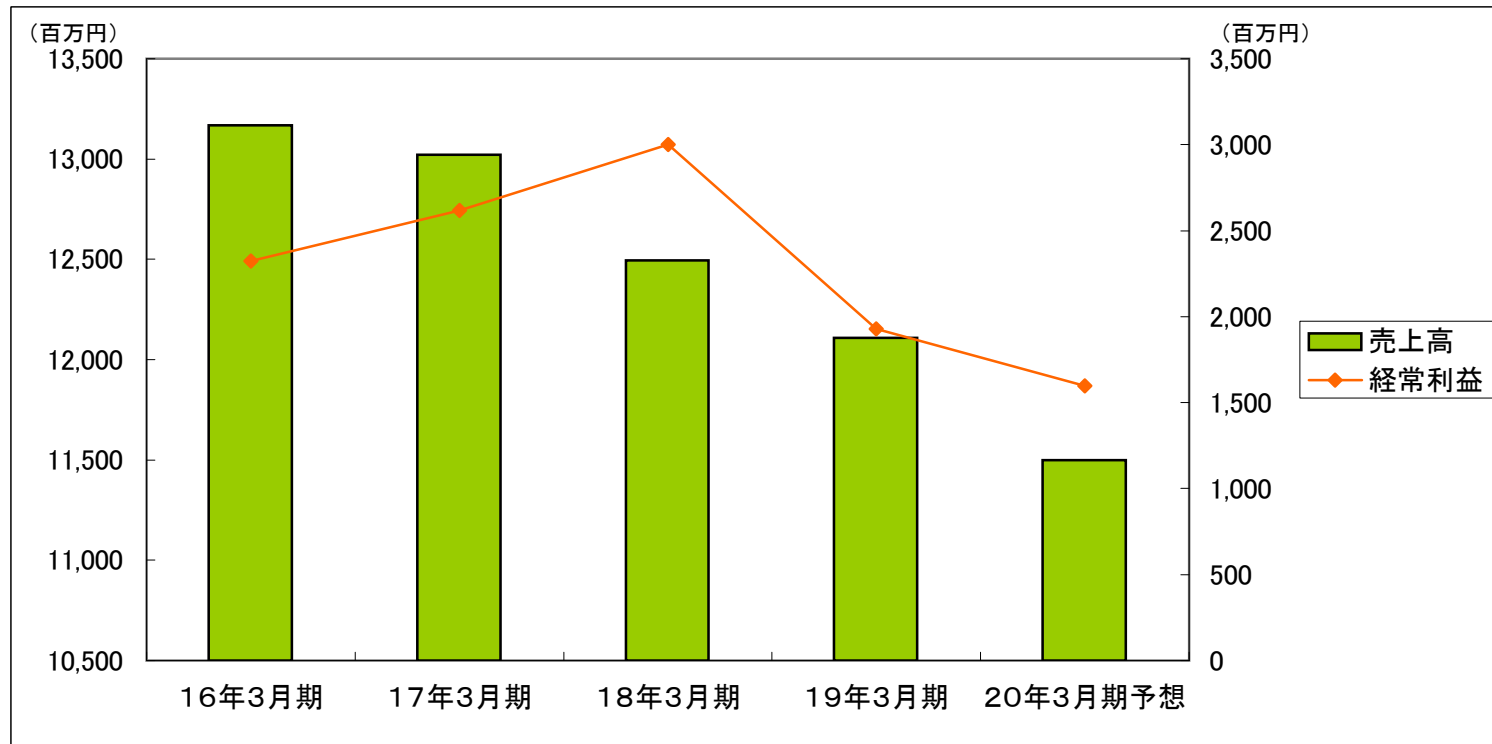
経営方針

当社は創業以来、家具を通じて「快適な住空間の創造」をテーマとし、市場における多種多様なニーズに応ずるべく商品の開発に努め、家具を安定的に供給することをもって社会に貢献することを基本方針としております。

今後の取り組み

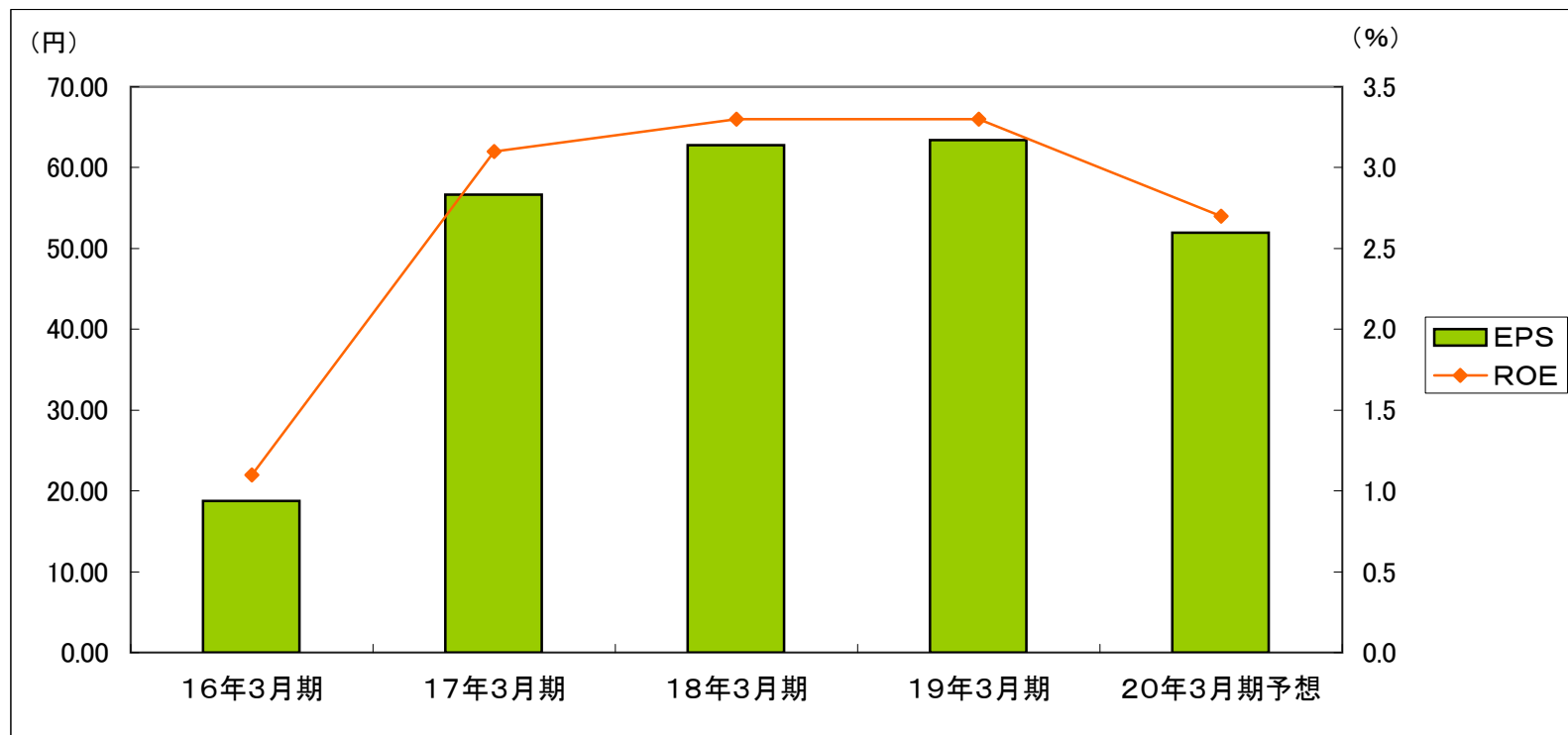
当社は商品開発に注力して魅力ある商品、競争力のある商品を創造し、売上の拡大を図ることを目指します。また、グループ一丸となり、製造部門では原価の低減に努め、販売部門では、販路の開拓、拡充に向けた営業力の強化に努めることにより、家具市場でのシェアの拡大を図ることが重要課題であると考えております。さらに、企業の財務体質を強化し、効率的、継続的に利益を確保し、発展を続ける企業経営に向け邁進してゆく所存であります。

売上高・経常利益の推移(非連結)



	16年3月期	17年3月期	18年3月期	19年3月期	20年3月期予想
売上高	13,169	13,020	12,494	12,107	11,500
経常利益	2,324	2,619	3,000	1,930	1,599

EPS・ROEの推移



	16年3月期	17年3月期	18年3月期	19年3月期	20年3月期予想
EPS	18.79	56.62	62.75	63.39	51.94
ROE	1.1	3.1	3.3	3.3	2.7



株式会社 光製作所

総務部

TEL : 03-3800-0111